

多目的屋外スポーツ施設整備に係る基本計画

概要版



令和 6 年 3 月

富士見市

1 計画の概要

(1) 基本計画の背景と目的

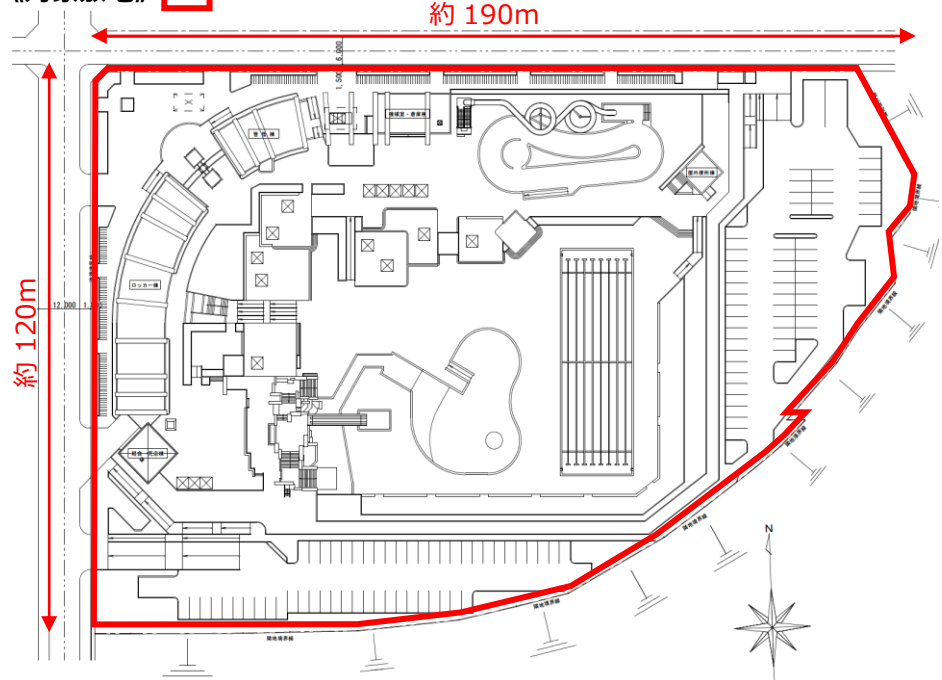
市では、富士見ガーデンビーチ跡地の利活用について、富士見ガーデンビーチ運用に関する市民懇談会等でのご意見、また、第2期富士見市スポーツ推進計画策定のために実施した富士見市スポーツに関するアンケート調査での様々なスポーツの施設整備を望む声を踏まえるとともに、周辺自治体の屋外スポーツ施設との比較、本市のスポーツ施設の抱える課題などを総合的に判断し、市民がスポーツ活動をする屋外スポーツ施設の拡充を図ることを目的に整備を進めることとしました。その方向性として、「スポーツ・レクリエーション、健康づくりを中心とした市民交流型の多目的・多世代・多目的で利用できる屋外スポーツ施設」（以下、「多目的屋外スポーツ施設」という。）として整備していくこととし、本基本計画を策定するものです。

(2) 対象敷地の概要

《概要》

所在地
富士見市大字勝瀬 545 番地 他
敷地面積
約 19,961 m ²
都市計画
市街化調整区域
建ぺい率
60%
容積率
200%
旧施設情報
昭和 59 年 6 月開園 令和 4 年 3 月閉園

《対象敷地》



(3) 関連計画等の整理

◆ 第2期富士見市スポーツ推進計画

【基本理念】 「スポーツで^{からだ}身体と地域を元気にし、みんな笑顔になれるまち」の実現

基本目標 1	スポーツで生涯にわたる健康生活
基本目標 2	スポーツを通じた市民の交流と地域の活性化
基本目標 3	スポーツをするための環境整備の促進
基本目標 4	スポーツを活かした愛着の醸成とシティセールスの推進

◆ 富士見ガーデンビーチ運用検討に資する提言

令和2年12月、富士見市スポーツ推進審議会より、富士見ガーデンビーチ運用検討に資する提言が以下のとおり行われました。

【提言】 「跡地活用は幅広く市民の声を聞きつつ、設置目的を明確にすること」

2 課題の整理

(1) 富士見市スポーツに関するアンケート調査

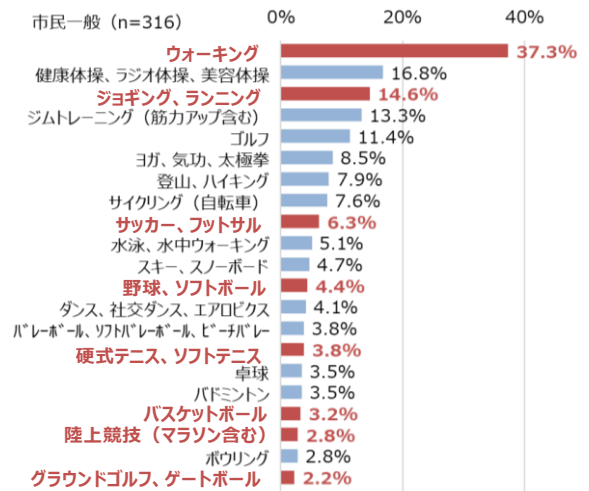
◆行っているスポーツ

市民一般が「行っているスポーツ」については、富士見市スポーツに関するアンケート調査の結果、右図の通りとなりました。

※グラフ赤色：対象敷地内で整備可能な施設で行う屋外スポーツ

※市民一般回答者 536 人の内、「問：スポーツをする頻度」で「ほとんどやらない」以外を回答した 316 人対象

出典：富士見市スポーツに関するアンケート調査 R3.3
(富士見市教育委員会)



(2) 屋外スポーツ施設の状況

◆市内・市外の屋外スポーツ施設の面数

半径 10km 圏域の自治体で競技別に面数を整理した結果、以下の通りとなりました。

自治体名	人口 (人)	野球	サッカー・フットサル	テニス	陸上	3on3 バスケ	パークゴルフ	多目的	グラウンドゴルフ	壁うち練習場	タッチラグビー
さいたま市	604,776	93	64	215	2		1(18H)	9	1		2
川越市	354,571	34	11	65	1	3				2	
所沢市	342,464	5	12	52				3		1	
新座市	166,017	5	7	45	1			1		1	
ふじみ野市	113,597	6	11	32		2		2	2	1	
志木市	75,346	9	3	27	1		1(36H)	4			1
朝霞市	141,083	5	3	15	1			2			
三芳町	38,434	4	2	10	1				2		
富士見市	111,859	7	4	9	1	1	1(36H)		1		
合計		168	117	470	8	6	3(90H)	21	6	5	3

※テニスコートの面数で降順

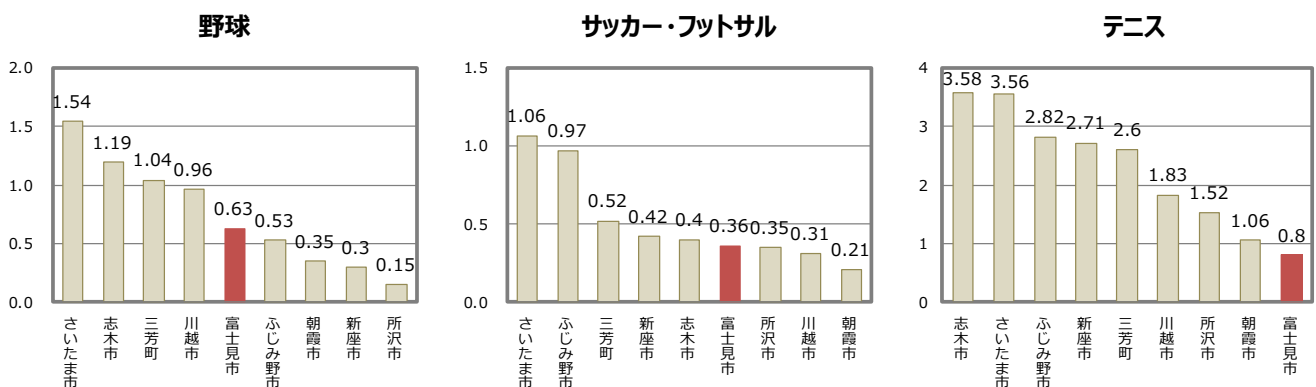
※さいたま市は、5区(西,大宮,中央,桜,南)を整理
※各自治体の人口は「令和2年国勢調査」を使用

◆市内・市外の屋外スポーツ施設の人口1万人当たりの面数

人口1万人当たりでみた場合、市内の野球場は周辺自治体と比較し、平均的な面数（0.63面）である一方、市内のサッカー・フットサルコート、テニスコートは、周辺自治体より面数が少なく（サッカー・フットサルコート：0.36面、テニスコート：0.8面）、特に、テニスコートは周辺自治体と比べ最も面数が少ない状況です。

※施設数が多い（野球場、サッカー・フットサルコート、テニスコート）スポーツから比較

《人口1万人当たりの面数》



※さいたま市は、5区(西,大宮,中央,桜,南)を整理

※各自治体の人口は「令和2年国勢調査」を使用

2 課題の整理

(3) 市民懇談会及び審議会の意見

◆開催概要

■多目的屋外スポーツ施設設置に関する市民懇談会

開催日：令和5年9月15日（金）

参加者：市民、スポーツ活動を行う団体の代表者、スポーツに関する学識経験のある者、その他市長が特に必要と認める者（参加者10名のうち、出席者10名）

■富士見市スポーツ推進審議会

開催日：令和5年10月10日（火）

委員：スポーツに関する学識経験のある者、関係行政機関の職員、市民（委員10名のうち、出席者8名）

◆意見概要

- ・「テニス」は、市内にコートが少なく、整備した場合は多くの利用が見込められる。
- ・「サッカー・フットサル」は、市内に少年サッカーチームが多いにも関わらず、現在少年サッカー公式サイズのコートが市内にないのが現状である。
- ・多目的・多目的に使える運動場であれば、多様なニーズに対応することができる。「保育園や幼稚園の運動会」などにも活用できる。
- ・「アーバンスポーツ」は、市周辺にアーバンスポーツができる施設が少なく、話題性もあることから、施設整備の検討が必要であると思われる。また、若者から高齢者までが見ていて楽しい空間が作れば交流も生まれ、アーバンスポーツの印象も変わるのではないかと。
- ・「ランニング・ウォーキング」は、ニーズがあると思われる。砂川堀の桜並木も活用できると良い。
- ・「子どもが運動できる場」は、市内に子どもや親子で遊べ

- る場所が少ないので、安全に遊べる場所があると良い。
- ・「健康遊具」は、ウォーキングをする高齢者には需要があると思われる。
- ・ふじみパワーアップ体操ができるなど、高齢者が日常的に使用でき、楽しめる場所であると良い。
- ・その他、アスレチック、フリースペース、飲食店などの集客できる施設の導入の意見があった。
- ・「屋根」は、ある場合とない場合で稼働率がまったく違うと思われる。
- ・「照明」は、付加価値として有効であり、冬の時期は夕方から暗くなり利用できなくなるといったことから、照明を整備してほしい。
- ・「クラブハウス」は、交流する場所を兼ねた場所となしてほしい。
- ・多様性の観点から、障がい者も利用できるように検討すべき。
- ・その他、音や照明等の周辺環境へ配慮してほしいとの意見があった。

(4) 市場調査の意見

◆調査概要

調査対象：12社（建設企業4社、維持管理・運営企業8社）

◆意見概要

- ・「テニス」と「サッカー・フットサル」の需要は高い状況である。また、「ソサイチ（7・8人制サッカー）」もできると良い。
- ・「テニス」は稼働率が高く、平日の昼間も利用されている。「サッカー・フットサル」は平日の夕方以降の利用が多い。
- ・テニスコートは3～5面、フットサルコートは3面が望ましい。
- ・「スケートボード」は東京2020オリンピック競技大会以降需要があり、「3on3 バasketボール」も近年需要があるが、収益性はあまり見込めない。
- ・「多世代交流の機能」として、屋外に広場の整備や、参加しやすいスポーツ教室の開催が望ましい。

- ・「子どもの遊び場、遊具」は、遊具の整備のみでは収益性や集客性に乏しい。
- ・「屋根」は、雨による予約のキャンセルや、暑さへの対策のため、全天候対応にできると稼働率も高い。一方、整備費・補修・張替による費用の負担がかかる。
- ・「夜間照明」は、夜間の利用者の増加が見込める。
- ・「クラブハウス」は、受付、更衣室、会議室、トイレ、シャワー室の整備を推奨。様々なプログラムの導入が検討できる多目的室があると利用者の増加につながる。シャワー室は更衣室ごとに2～3機ほどの整備が望ましい。

(5) 多目的屋外スポーツ施設整備にあたっての課題

◆多様なスポーツの活動ニーズへの対応

◆健康づくり活動を維持継続すること

◆スポーツを通じた交流機会を提供すること

3 > コンセプト、施設整備方針、導入施設・施設配置の検討

(1) コンセプト

いつでも、だれもが、多様なスポーツを楽しむ、健康づくり・交流ができる空間

子どもから高齢者、障がい者まで、だれもが楽しく、様々なスポーツにいつでも親しめる施設として整備することで、日常の中にスポーツを取り入れ、健康づくりができるとともに、スポーツを通じ、世代を超えた交流をすることができる環境を実現します。

(2) 施設整備方針、導入施設の検討

施設整備方針	施設名	整備内容
施設整備方針 1 多様なスポーツの活動拠点となる場の提供	◆屋外施設	
	多目的運動場 ①	8人制サッカー・フットサルの利用を主として、多目的に利用 フットサルコート3面を整備（膜屋根・夜間照明付き、人工芝）
	多目的運動場 ②	テニスの利用を主として、多目的に利用 テニスコート5面を整備（膜屋根・夜間照明付き、人工芝）
	3on3バスケットボールコート	アーバンスポーツ施設として、3面を整備
施設整備方針 2 健康づくりを支援する場の提供	テニス壁打ち施設	テニスへの需要を踏まえ、1面を整備
	ウォーキングコース 健康遊具	多目的運動場①と多目的運動場②の外周にコースを設定 コース周辺に健康遊具を整備
	中央広場	市民、利用者同士が交流できる広場・イベント等で活用
	エントランス広場	施設の玄関口となる広場・キッチンカーの誘致
施設整備方針 3 スポーツを通じて交流ができる場の提供	駐車場・駐輪場	利用状況を踏まえた駐車場、駐輪場の設定、障がい者用 駐車マスの設定
	◆屋内施設	
	クラブハウス	管理室（受付）、トレーニング室（スタジオ）、会議室、用具入れ、更衣室（シャワー室付）、トイレ（バリアフリートイレ含）

※市民懇談会・審議会で意見が多かった「スケートボード施設」については、富士見上南畑産業団地内の調整池底面を利活用した整備を検討していきます。

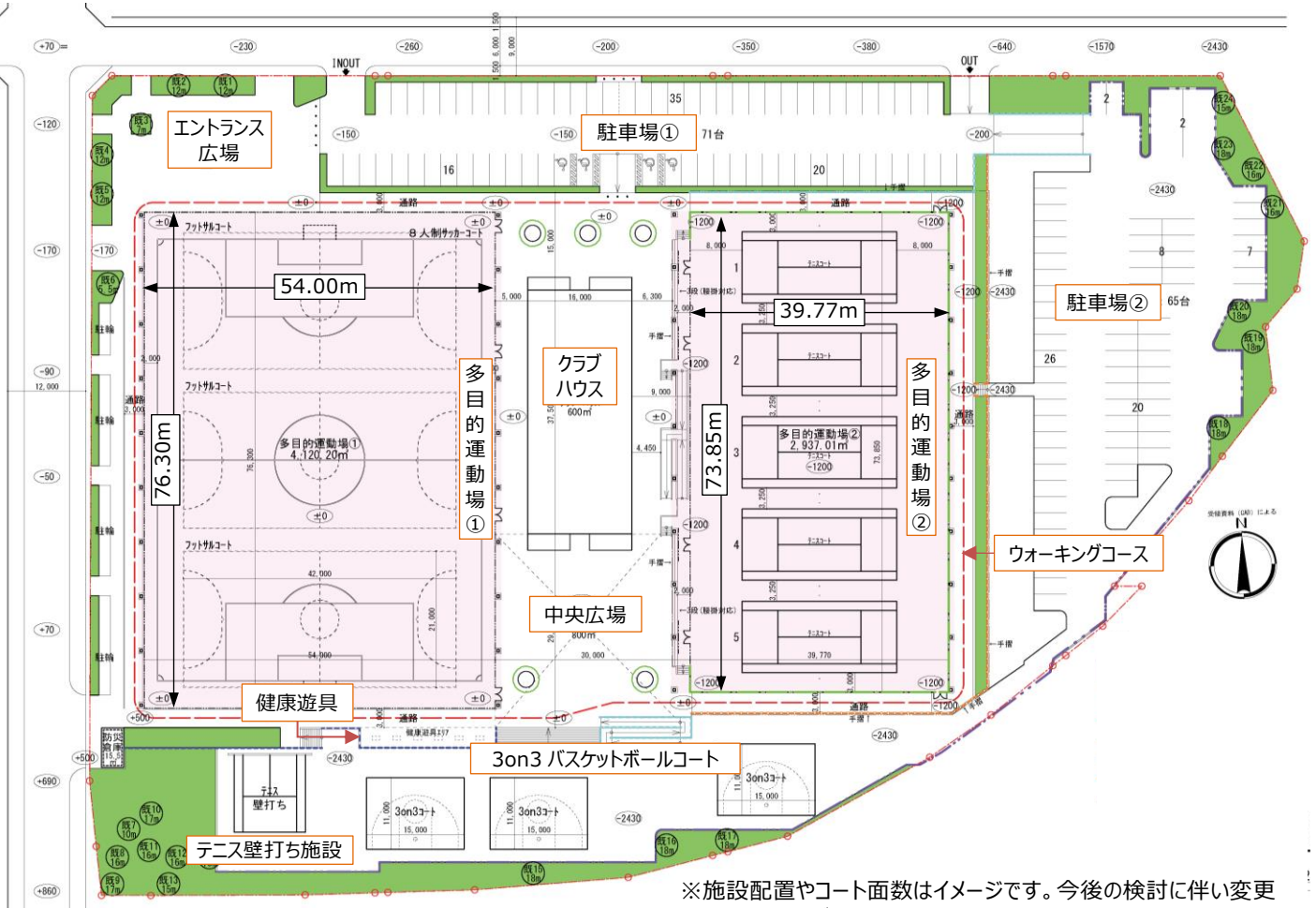
(3) 整備にあたっての対応事項

雨水流出抑制対策	富士見ガーデンビーチは雨水流出抑制対策機能を有した施設であったことから、現状と同等以上の雨水流出抑制対策に取り組みます。 雨水流出抑制対策は、既存の地形や整備コストの抑制等を踏まえて実施します。
緑化・自然環境への配慮	「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」に基づく基準を満たすよう、緑化を計画します。敷地内緑化にあたり、富士見ガーデンビーチに整備されていた植栽の一部は維持する計画とします。また、施設整備にあたっては、自然環境に配慮するものとします。

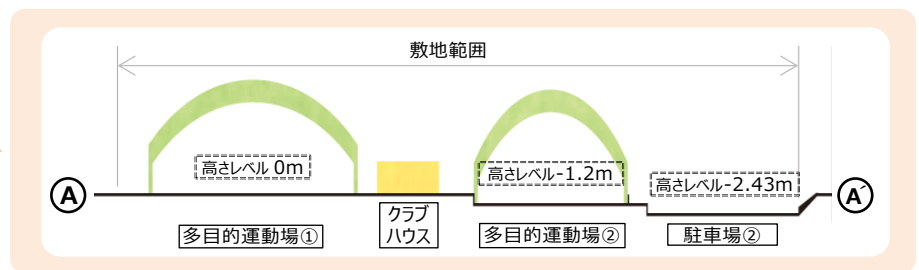
3 > コンセプト、施設整備方針、導入施設・施設配置の検討

(4) 施設配置 (案)

◆平面図 (イメージ)



◆横断面図 (イメージ)



4 事業方式

◆事業方式の評価

事業方式	特徴	評価
設計施工分離発注方式	早期供用が図れるものの、分離発注となるため、コスト削減と、民間ノウハウの活用の効果は期待しづらい。	△
DB方式 (設計施工一括発注方式)	設計・建設と維持管理・運営が別発注となるため、コスト削減と、民間ノウハウの活用の効果は、DBO方式、PFI-BTO方式と比較し、限定的なものとなる。	○
DBO方式 (設計施工維持管理運営一括発注方式)	設計・建設・維持管理・運営を一貫して行うことで、維持管理・運営期間を見据えた視点によって、設計・建設をすることが可能となり、コスト削減や民間ノウハウの活用によるサービス向上などが期待できる。 また、市場調査により、民間事業者からの参加意欲を一定数見込むことができている。	◎
PFI-BTO方式	DBO方式と同様に、コスト削減や民間ノウハウの活用によるサービス向上などが見込めるものの、DBO方式と比較し、金利負担コストが発生する他、供用開始まで時間がかかる。	○

5 概算事業費、維持管理・運営費の考え方、財源

◆概算事業費

項目	概算事業費(税込)
解体費	約 2.0 億円
設計・建設費等 (調査・設計・監理・造成・建設・外構等工事費)	約 25.7 億円
備品・開業準備費	約 0.5 億円
合計	約 28.2 億円

※設計施工分離発注方式による整備とする場合
 ※今後、コスト抑制の観点を踏まえた整備内容の精査などを通じて、財政負担の軽減に努めるものとします。
 ※概算事業費は、あくまで令和5年度時点の単価を基に積算した金額であり、今後の検討の進捗状況や、建設に係る物価上昇、労務単価の上昇などにより変動する可能性があります。

◆維持管理・運営費の考え方

施設整備にあたっては、イニシャルコスト（設計費、建設費等）だけでなく、必要になるランニングコスト（維持管理、運営費等）への影響に配慮する必要があります。

DBO方式を採用する場合は、維持管理、運営を見据えた視点によって、設計、建設をすることが可能になり、効率的な維持管理や運営、利用料収入の確保等が図られるなど、必要となるランニングコストの縮減が図られると考えられます。

◆財源


多目的屋外スポーツ施設の整備に係る事業費の財源は、今後活用可能な有利な起債や、交付金・助成金・補助金等を検討し、積極的な財政負担の軽減に努めるものとします。

6 事業スケジュール（案）

◆事業スケジュール（案）（DBO方式で事業を実施する場合）

多目的屋外スポーツ施設は、令和10年度の供用開始を目指します。





多目的屋外スポーツ施設整備に係る基本計画
概要版

令和6年3月

発行：富士見市

編集：協働推進部 文化・スポーツ振興課

所在地：〒354-8511

富士見市大字鶴馬 1800 番地の 1

電話：049-251-2711（代表）

049-252-7139（直通）